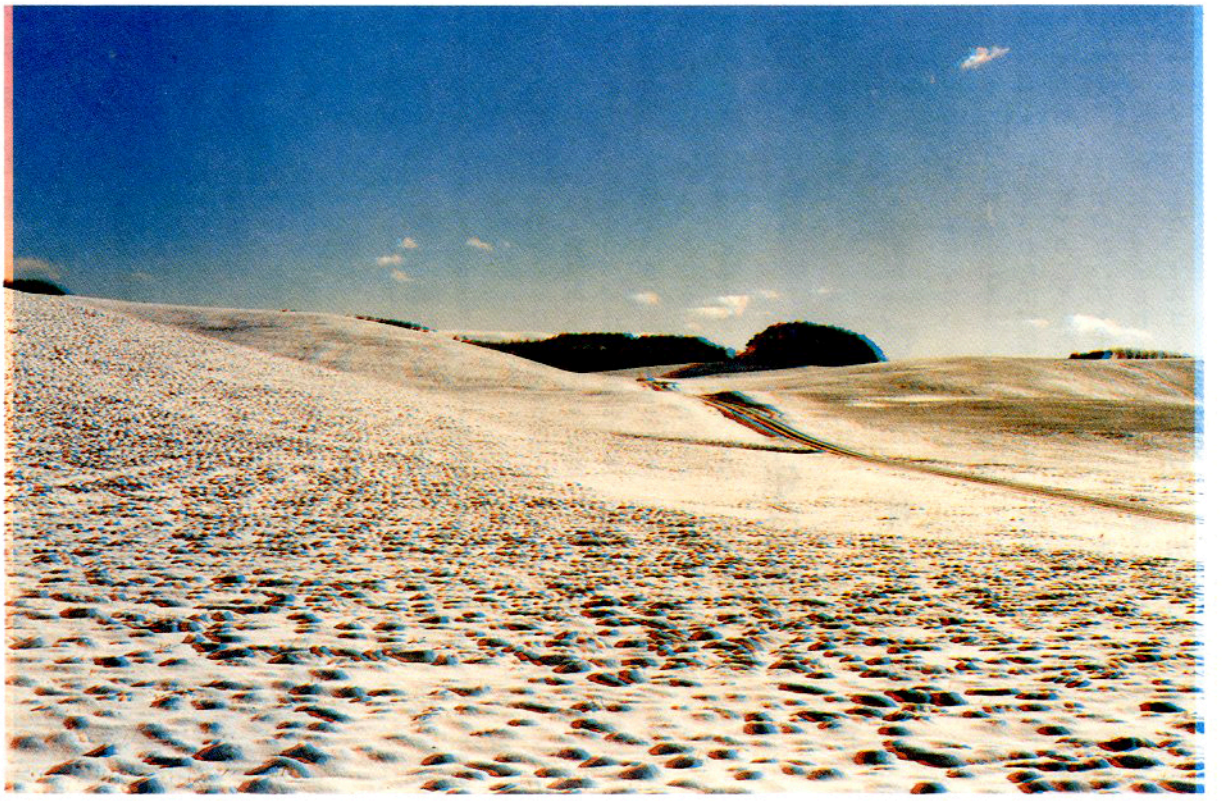
広報
さめがわ
昭和64年
1月号
No. 421
編集兼発行
鮫川村役場
塙町佐藤印刷所



鹿角平は、四季を通じて美しい。この広大な草地に立てば、視界はひらけて、人々の心を魅了する。

迎　春

1989年　元旦

1月6日	消防団出初式
1月15日	鮫川村成人式
1月26日	文化財防火デー

今月の人口
（12月26日現在）

		前月比
人口	5,449	（－4）
男	2,686	（－2）
女	2,763	（－2）
世帯数	1,138	（　2）

西山小 防火書道展
渡瀬小 防火パレードを実施

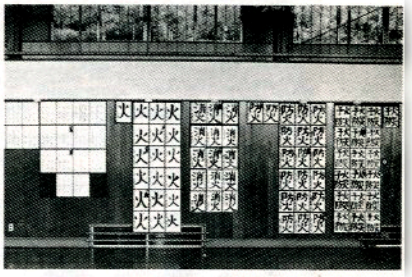
秋の全国火災予防運動期間中の十二月一日、西山小学校では防火書道展と避難訓練、渡瀬小学校では防火パレードがそれぞれ行われました。

西山小学校の防火書道展、防火看板コンクールでは、矢部教育長、松崎団長、荒井棚倉消防署長、遠藤鮫川分署長らが審査員となり作品の審査を行いました。

続いて、小学校付近から火災が発生したとの想定で避難訓練が行われたあと、消防署員による消火器の取扱いの説明、バケツリレーによる消火訓練などが行われました。

最後に、訓練の講評、表彰があり終了しました。

また、渡瀬小学校では、防火意識の高揚と鼓笛隊のユニフォームの披露を兼ねて、学区内を防火パレードしました。



▲防火書道展（西山小学校）



▲防火パレード（渡瀬小学校）

今年に寄せる願い

村長　芳賀文雄



新春を迎え、村民皆様の一層のご健勝とご多幸を祈りつつ、鮫川村の限りない発展を願うものであります。

昭和六十三年は、異常気象による農業災害の対応に明け暮れ、農家の皆様には並々ならぬご心労のうちに経過しましたが、得難い教訓を与えてくれた年でもありました。

過去の歴史にも、このような災害は二年続くことも記録されておりますので、災害の二年目に当る今年こそ、農村経済にとって容易でない年であるとの認識に立って、真剣な取り組みと絶ゆまぬ努力が必要であります。

そのためには、農家経済の安定と農業再生産意欲の増進を図りつつ、経済機関や行政が果すべき役割などを十分考慮し、それぞれの機関が相互に連携と協力を一層強化しなければならないと考えます。

明るい話題としては、昨春開園された山村留学「竹飛歩学園」の二九人の子どもたちは、のびのびと生活しており順調に運営されております。

また、マスコミなどにより全国に紹介されたため、わが鮫川村の自然の美しさ、人情の豊かさが反響を呼び、田舎暮らしの希望者が殺到して、現在一一世帯が空き家に入居または契約されるなど、過疎の解消に弾みがつき、それなりの成果を得ております。

今年は、村振興計画、過疎地域振興計画及び新林構事業計画等の既定計画による各種の事業につきましては、国や県に強く働きかけ、その実現に努力する考えであります。

明治二十二年町村制の施行により、鮫川村が誕生して今年で百年となりますので、新しい時代の幕開けとして、また、活力ある村づくりのために意義のある年でありますよう念願し、決意を新たにするものであります。

新しい年に数々の希望と願いを込め、今年もまた皆様の上に幸多く、福祉の豊かなることを重ねてお祈りいたしますとともに、なお一層のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げまして、ごあいさつといたします。

冷害に伴う阿武隈開発事業参加農家の救済を陳情

去る十一月二十八日、県農業振興課へ阿武隈南部区域広域農業開発事業参加農家が冷害等により容易でない現況を説明するとともに、償還金に対する軽減を、緑川助役、中井畜産指導室長、都路村助役、県町村会酒井次長らと陳情しました。

これに対し、県では農業振興課山田課長補佐、渡辺係長ら担当課職員が出席し、資金の対応等畜産課へ協議するとともに、農林省畜産局へも要望し、努力する旨の回答がありました。

また、緑川助役から今後の早期対応策の検討についても強く要望してきました。



もうすぐ1年生

昭和64年度新入学児童

今春四月、小学校に入学される児童は、昭和五十七年四月二日から昭和五十八年四月一日までに生まれたお子さんです。

昨年十二月一日現在の調べでは、入学予定のお子さんは次の八六名です。名前が違っていたり、もれていましたら、一月二十五日までに学校教育課（電話四九－三一五一）に申し出てください。

昭和64年度新入学児童

（　）は保護者名

◆青生野小学校　7名

▽山形寿（義広）▽武藤治樹（明）▽岡部和宏（忠市）▽堀川龍一（照夫）▽平久江優季（和男）▽堀川育代（信四郎）▽加藤百恵（憲治）

◆渡瀬小学校　16名

▽下重寿夫（守）▽生田目誠二（利夫）▽遠藤勇気（雅人）▽蛭田啓志（啓喜）▽津田法和（彰夫）▽高久栄伸（利道）▽芳賀春美（登）▽蛭田由加理（伸二）▽菊地貴子（常夫）▽芳賀育実（亨）▽蛭田奈緒美（和彦）▽蛭田淳子（和男）▽一ノ渡美保（博）▽赤坂理恵子（博男）▽藤田絹枝（俊一）▽芳賀ゆかり（峰生）

◆富田小学校　6名

▽須藤浩美（光夫）▽坂本隆（一郎）▽栗原安男（順一）▽円谷初枝（建一）▽本田美津子（之雄）▽小山田里美（一成）

◆西野小学校　11名

▽藤田高彦（高志）▽舟木健司（良一）▽高坂優也（喜朗）▽佐藤大輔（秋男）▽北條隆弘（伊佐美）▽高坂敦子（修一）▽須藤さゆり（一）▽水野明美（富雄）▽白坂友美（久幸）▽石井京子（富一）▽石井友子（政夫）

◆西山小学校　13名

▽我妻春美（光男）▽水野博文（一美）▽根本武雄（日出雄）▽関根佑一（正良）▽坂本俊哉（喜一）▽本郷聡（弘義）▽根本久美子（一郎）▽我妻美幸（邦夫）▽本郷なつみ（傳）▽関根初重（一男）▽須藤千恵子（啓太郎）▽水野幹子（政春）▽本郷成美（長）

◆鮫川小学校　33名

▽白土一典（愼吉）▽本郷広喜（喜美）▽芳賀浩二（義美）▽篠田光海（敏子）▽鈴木寿治（正孝）▽鈴木悠弘（次男）▽高木善央（定雄）▽岡部隼人（源）▽水野拓徳（忠徳）▽中川西学（美好）▽佐藤晃（文雄）▽白坂俊一（幸雄）▽鈴木剛（治男）▽芳賀康史（義文）▽芳賀真一（博文）▽高木弘美（一一）▽矢吹美香子（秋男）▽藤元和子（良美）▽森由美子（義美）▽森さつき（洋）▽岡崎美也子（良一）▽岡崎美都子（良一）▽鈴木亜由美（啓寿）▽森順子（孝男）▽緑川優子（茂）▽石井千恵美（照也）▽田子志津江（勝）▽宗田幸（貞雄）▽近藤好恵（保弘）▽根本絵梨子（正美）▽鈴木歩美（一二）▽圓井美樹（七蔵）▽前田薫（俊男）



年頭のごあいさつ

村議会議長　蛭田　一

年頭にあたり村議会を代表し謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昭和六十四年の輝ける新春を迎え、村民皆々様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げますと共に、常日頃私たち議会活動に対するご支援とご協力によりまして村民皆様からの要請、請願、陳情等を村政に反映するよう努力しながら円満な議会運営ができ、大過なく越年することができましたことを深く感謝申し上げます。

さて昭和六十三年は初夏からの異常気象により、水稲をはじめ農作物全般にわたる被害を受け、その減収総額は八億余円となり、昭和五十五年以上の災害となりました。

子牛の市場価格は良かったものの、更に米価の引下げなど農家にとっては非常に厳しい年でありました。

議会といたしましても、その対策と新年に向っての対応に真剣に取り組んでいるところでありますが、農家の皆さんにはこの困難な情勢に屈することなく、終始創意工夫と努力を重ねられ堅忍の精神と協力によって、たくましく前進されることを期待する次第であります。

村においても財政の厳しいところではありますが、各種の振興計画に基づく事業が、村民皆様のご協力のもとに順調に進められ、発展されておりますことはご同慶にたえないところであります。

しかしながら住民皆様の行政への要望は益々多種多様化する中で、これに応える各施策、更には一層の住民福祉の向上、生活基盤の安定を図るには、従来にも増して道路の改良舗装事業、上下水道整備事業などを始めとした重要な課題が山積しております。

昭和六十四年も財政事情は更に厳しい年であると予想されますが、国の第四次全国総合開発計画等を期待すると共に、国県の施策と相まって村政全般にわたり更に諸事業の内容充実のため、最大の努力をいたす所存であります。

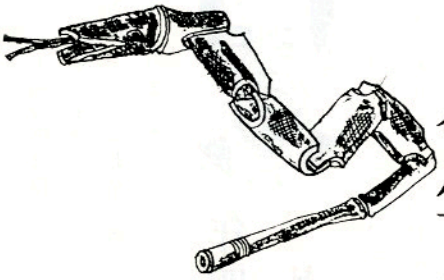
旧年に倍するご指導とご協力をお願い申し上げまして年頭のごあいさつといたします。

われら巳年生まれ

今年の抱負

新年あけましておめでとうございます。
新しい年の幕開けです。そこで今年のエトにちなみ、〝巳年〟生まれの方々に『今年の抱負』を執筆していただきました。
皆さんの今年の抱負はいかがですか。――

今年は巳年



今年は巳年、すなわち蛇年です。蛇は、十二支のなかの唯一の爬虫類ですが、古くは恐竜、現代では亀やトカゲ、ワニなどの仲間です。

蛇は、古来、恐れられ排斥される一方で、崇拝と畏敬の対象でもありました。日本では、神のお使い、あるいは神そのものと思われていた様子が、古典や伝説、昔話に多くみられます。

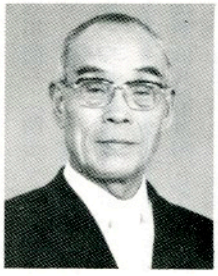
例えば、池や沼の主を大蛇とみて雨ごいをする風習は全国的にあるといわれます。また、白い蛇を家の神とする信仰も各地にみられます。

蛇は集団をつくらない動物といわれます。蟻などのように社会組織や集団生活する例はあまり見られなく、いつも〝ひとり〟で孤独な生活をしています。

ところで

蛇は生きている間ずっと成長し続けます。発育に伴って、古い皮は三か月に一度定期的に脱ぎ捨てられ、新しい皮に変わります。これが脱皮です。

お正月を機に今年こそは新しい試みをと、脱皮を心がけている方、うまくいくといいですね。



二反田　鷺野谷　満（大正6年生まれ）

新年おめでとうございます。人生は「アッ」という間にすぎてゆく。私も今年の「エト」巳年生まれで第六回を迎えました。

目をつむりしずかに今までの自分のやって来た仕事を振りかえり「自分はこの年齢になって何をしてきたか」と、記憶や想い出をふり返りばく然と覚えていた自分の歴史がもう一度はっきりと浮かんで参ります。

戦前・戦中・戦後と激動の世、波乱万丈ともいえるような社会に生きつづけてこられたことは、先輩、知人、友人に支えられて来たことに思いを巡らせるとき、感謝の言葉もないほどです。

今、日本は世界の長寿国に仲間入りし、確実に迫ってくる高齢化社会を迎えるに当って何をなすべきかを思うとき、「生き甲斐をつくるためにはどのようにしたらよいか」を日々の生活の中で考え、少しでも社会に貢献しうるよう心がけて人生は死ぬまで勉強であり、死ぬまで進歩しつづけなければ生れて来た値打ちがないという言葉もあります。

第一に健康に気を配り、つとめて社会活動に参加し、友だちを多くつくり、日々を明かるく快適にすごすことを心がけてゆきたいと思います。

いま有りて　つぎを知らぬ
人のいのち　いまに悔なき厄あらぬ（読人不知）

人生は　生涯学習



西野小　須藤　智裕（昭和52年生まれ）

今年は、ぼくの生まれた年と同じ「ヘビ年」です。うちのおばあちゃんは、「へ



（昭和４年生まれ）

安全を 第一に

道少田　緑川　正昭

今年、六十年目の太陽を拝むことができました。その間動き続けてくれた心臓とお世話になった多くの人たちに感謝しております。

頭の働きは元より、体の動きも感覚も鈍くなるばかりで自信をなくし、不安定な状態を感じますが、努めて良く見たり聞いたり考えて行動し、他人に迷惑をかけないように心がけたいと思います。

すべての生物は身の安全を保持しながら生活を続けています。私も、健康に気をつけて次の巳年（21世紀）の陽の光を浴び、進展する社会の空気に触れたいと思っています。

交通教育専門員として街頭に立ったり、要請があれば出向いて交通安全を呼びかけてきましたが、今年も事故や犯罪、災害のない良い年でありたいと祈ります。交通事故が減少しシートベルトの装着率が高まれば、少しは私の所為として喜びたいと思います。

今年もよろしくお願いします。



（昭和40年生まれ）

新しい 旅立ち

押野　緑川　教子

今年の正月は、サンフランシスコ。もう私の挑戦は始まっている。たよりになるのは地図と片言の英語と足だけ。

一人で何ができるかわからないが、他国を迷い歩きながら様々なものを見、聞き、触れたい。そして、人間としての、日本人としての、教師としての、自分を見つめなおしたい。やっと教員として採用される、まさに人生の新たな出発点に立っている、そんな自分を試してみたくて計画したのだ。

「走りきれるかな」「苦しい、もうやめようか」「もうすぐゴール、頑張ろう」「やった！走れた！ああ気持ちいい―」マラソンのこの感じがたまらなく好きだ。私は今、不安でいっぱいの人生のスタート地点。一九八九年、挑戦の年。まずはサンフランシスコハイウェイマラソン。一年間息切れするまで走ってみる。そして、あの満足感、爽快感を味わえたら最高である。

これが私にできる親孝行…。



（昭和28年生まれ）

家計簿の記帳を

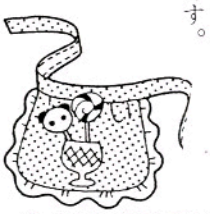
大犬平　堀川　重子

私は、昭和二十八年巳年生まれです。今年で三回目の干支を迎えました。

子供も中学一年生を頭に、小学五年、幼稚園児の三人おります。もう、子供たちも親の後姿を見る年頃になりました。

占いの本などの干支を見ますと、性格判断の短所は、まさに自分の短所にピッタリです。今年は良く自分の性格を見極め、反省の踏み台の年としたいものです。

また、今年もあまり良い作柄ではない様なので、基本通りに農作業を行い、経営を安定させ、出来るものなら、家計簿なども記帳し、むだ使い教育費、交際費などを良く見極め、一家の主婦として、主人を助け、家族の健康に注意し、地域の人たちへのきくばりもわすれずに躍進の年としたいものです。



ぼくのしょう来のゆめ

ビ年生まれは食べることにはこまらない。」とよく言っています。だから、ぼくはのんびりしているのかなと思います。

しかし、ぼくには、いっしょうけんめい勉強してやりたいことがあります。農家の長男だから家のこともやらなければならないでしょうが、お父さんは自分のすきなようにしていいと言っています。それで建築家になろうと思っています。いろいろ作るのが好きなので、自分のアイデアを生かした図面を書いて、木をけずったり穴をあけたりして家やいろいろ建物をつくってみたいと思います。

今年はまた、小学校最後の年でもあります。自分のゆめが大きく花ひらくように、勉強に運動にしっかりがんばり、思い出に残る年にしたいと思います。





(昭和16年生まれ)

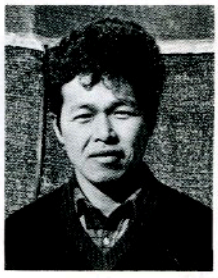
教訓を生かした農業経営を

中沢　石井　栄

新年明けましておめでとうございます。月日がたつのは早いもので、昭和十六年に生れ四回目の〝巳〟年男を迎えました。

今、自分のこれまでの生きた時代を返りみれば、生れた昭和十六年は大平洋戦争が始まった年である。不安な戦中・戦後と食糧難時代、今、戦争と聞いただけでもゾッとする。苦労して私を育ててくれた母を初め、今日まで育て励ましてくれた人情味豊かな地域の方々に心から恩返しをしたいと思います。

今年の抱負は、と問われ、今日農業を取りまく情勢は日に日に厳しさを増しております。農畜産物輸入自由化を初め、水田農業確立対策の減反、米価の引き下げ、さらに追い打ちをかけたように、米の輸入自由化が叫ばれております。正に農業の正念場であります。我が鮫川の高冷地農業経営は気象の影響が一番大きく、不順な天候を変えることは出来ません。昔から巳年は不作といわれるように、今年の天候が大変心配されるので、昨年の冷害の教訓を生かし、初心にかえり適切な管理と基本的技術により、今年こそは昨年と同じでなく一歩進んだ農業経営をやろうと決意を新たにしています。



(昭和28年生まれ)

長期的な　村づくりを

戸草　三瓶　稔

月日の立つのは早いものでもう三回目の巳年、そう三十六歳、年男、つい最近、成人を迎えたばかりと思っていたのに……。毎年、年頭になると、それなりに計画を立てて過ごして来たけど、さて実行はというと、なかなか出来なかった。

そこで今年の抱負は、と聞かれて、まず昨年から始まりました「村づくりおもしろ講座」の運営委員で一年間、講座を中心にして、活動させていただきました。

おもしろ講座の第一の目的は、皆さんも知っていると思いますが、人づくりなのです。

これは、短期間で結論が出るわけではないので、今後も長期的に、やってもらいたい事業の一つです。

そうする事によって、一人一人の物の考え方や、色々な方向から、自分たちの住んでいる村などを見つめて子供たちが、自分らの村はほんとうにすばらしい村だと、自信のもてるような村づくりを、自分なりに少しづつ実行していかなければと考えています。



(昭和４年生まれ)

土に生きながら生涯学習

仁田　矢吹　一二

新年おめでとうございます。

百姓の来年とは昔の人はよく言ったもの。今年こそはと誰れしもが願うに、昭和六十三年は希に見る大冷害に見舞れ、いかに現代社会でも自然の力には勝てず厳しい年でありました。

私もいつの間にか五回目の巳年を迎え、土に生れ育った者としてふり返るとき、どれだけ土の歓びを感じたかと思うと、あまりにも淋しい気がいたします。

また、人生論においても戦争そして敗戦となり経験者以外には想像もつかない苦労に耐

最高学年としてがんばりたい

渡瀬小　芳賀　美紀



(昭和52年生まれ)

一九八九年は、巳年です。私は巳年の生まれです。今は、五年生ですが、四月からは六年生になります。小学生も最後の年になります。児童会、委員会、クラブなどほとんどのことは、私たちが中心になって行くことになります。そのために、最高学年としてはずかしくないように、がんばらなければなりません。

たとえば、一年生が入ってきたら、やさしくめんどうをみて、いっしょに遊んであげたいと思いますし、こまっている時は、「どうしたの」とわけをきいて助けてやりたいです。

クラブ活動でも、今やっているバスケットボールを続け

えた世代もありましたが、今や日本は何不自由ない経済大国に成長しました。

現在、社会においてもどれだけ貢献出来たか誠に疑問であり、そしてまた、高齢化社会にむけての生涯学習、それは老若男女を問わず、人と人との触れ合いこそ最も尊い生涯教育であり、人生の実年者として頑張りたいと思います。

自然に恵まれた村に生き、土を相手に一粒の米、一株の野菜でも成果の出た時の歓びは、土に生きる者以外には知ることが出来ないのです。

神社総代三名表彰される

戦後、神道・仏教の宗教が国家から分離され、宗教法人として神社界は神社本庁で統括するようになりました。

昭和三十三年、全国神社総代会を結成し、神社界の隆盛に貢献し続けてきています。

昨年は総代会が設立されて三十周年に当り、全国総代会が去る十月二十一日、仙台市で開催されました。

席上、永年に亘り、産土神社の護持と興隆に貢献された総代の方の表彰式があり、本村では、中野八幡神社総代杉山忠男氏、熊野神社総代須藤弘美氏、鬼越神社総代故円井彦兵衛氏の三名が表彰されました。

今月の納付

国民年金保険料
納期限　1月25日

東京鮫川会だより

我がふるさとを偲ぶ

花上　ミヨ子

農協新聞「やまびこ」、広報「さめがわ」を定期的に郵送され、それを拝見するのがとても楽しみです。それぞれ故郷を守ろうと「東京鮫川会」の発足、皆さんに久しぶりにお会いでき、思い出話しで一杯でした。また、鮫川のうまいもの祭りは出席できませんでしたが、手にとるように故郷の様子が思い浮かべる事ができました。

鮫川の故郷を離れて二十数年も過ぎた今、本当に子供の頃の生活が懐しく感じる今日この頃です。

通学するのも小学校四年生までは東野分校で勉強し、五年生から本校の鮫川小学校に通い、遠い六キロ以上の道を「テクテク」と歩き、子供心にどうしてこんな不便な所に生まれたんだろうと思う事もありました。でも今になればあの頃の通学途中での遊び買い食いをし、友達との会話、それだけの距離がなければあの楽しさが味わう事が出来なかったのではと思います。

四季折々の草花や季節の野菜等、一年中店頭に並びいつも買い求められる今、都会の子供には味わう事のできないことを、私共は色々と経験でき育ったからこそ今の人生が有るんだと誇りに思っています。私たち鮫川を離れた者は、各々の生活を築いていますが、それにもまして長年鮫川の故郷を守り、より以上の発展に尽くされている方々に頭の下がる思いです。自分たちの子供にも鮫川での生活した時の経験をさせてあげたいのですが、話しを聞かせるのが精一杯です。

鮫川村の益々の発展を、心よりお祈り申し上げます。

東京都太田区池上八－四－六

（赤坂東野字遠ケ竜出身）

スポーツの村”鮫川“

中井　邦雄

月一回届く故里の会報を読んでは、「スポーツの盛んな鮫川」この伝統を守りつづけている関係各位の御努力に、いつも頭が下る思いです。

私の息子が所属しています足立区少年軟式野球連盟の十周年記念式典に役員として出席しました際、長野県山の内町との姉妹提携の話がありました。青少年育成の一環として意義のある地元のあいさつでした。

私が中学三年の夏の大会で、野球・ソフトボール・卓球の三種目が優勝、その感動は今でも忘れることはできません。

そのことが、後、私の人生に少なからず励みになっていることは確かです。

級友の一人一人を慕いつつ血圧やら肝臓を心配しながらペンを置きます。

店さきの
あけびや栗に　山を恋う

妻　信子

東京都足立区
大谷田五－七－一二

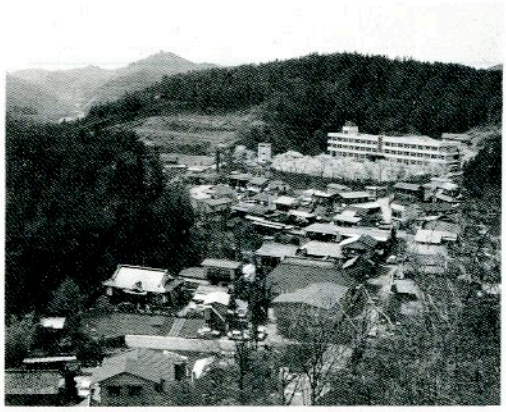
（赤坂東野字広畑出身）



ていきたいと思います。

児童会でも、役員に立候補して、みんなをひっぱっていけたらいいなあと思います。

でも、そのためには、健康が大切です。元気なからだで友だちといっしょにがんばりたいと思います。



村民意向調査まとまる

981世帯から回答

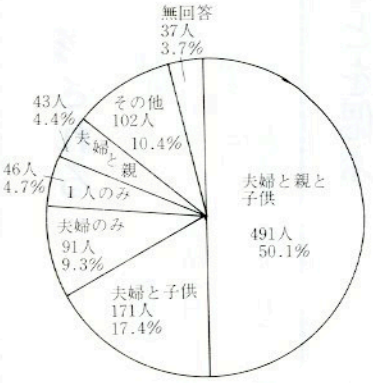
村では、〝豊かで活力ある村づくり〟を推進するため、昨年九月に全世帯を対象に「村民意向調査」を行いました。

その結果、一、一一二世帯のうち九八一世帯から回答があり、八八・二%の回答率になりました。

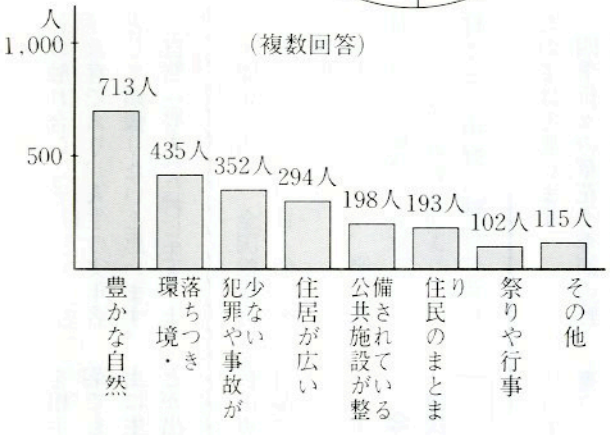
また、皆さんのご意見を記入する「その他」の欄では、多数の貴重なご意見をいただきました。調査についてのご協力誠にありがとうございました。調査の結果を三回に分けてお知らせします。なお、調査の成果は今後の施策に生かしていく予定です。

全体

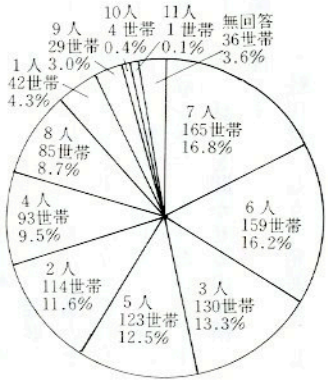
問1－(2) 家族の構成はどうなっていますか。



問1－(3) 家族の人数は何人ですか。

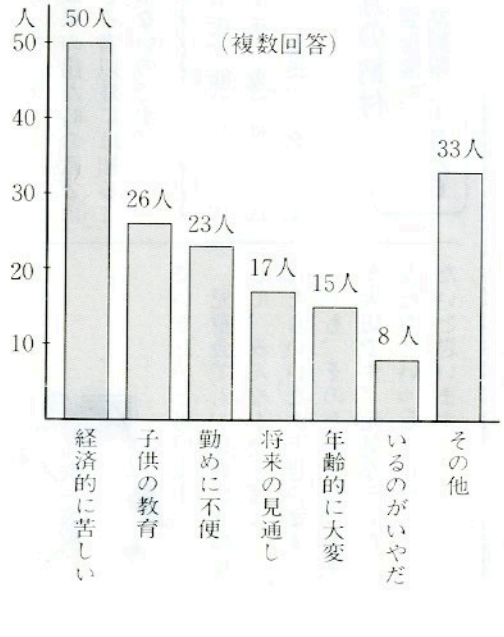


※一世帯あたりの平均家族の人数＝五・〇二人

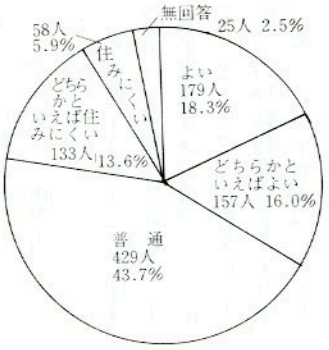


生活環境

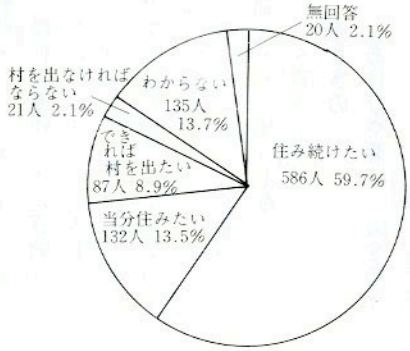
問2 あなたが村に魅力や誇りを感じるのはどのようなことですか。3つ以内に○をつけてください。



問3 鮫川村は住みよいところですか。



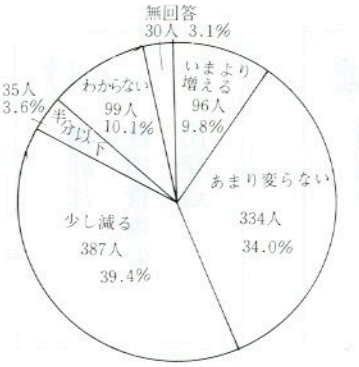
問4－(1) これからも鮫川村に住みたいと思いますか。



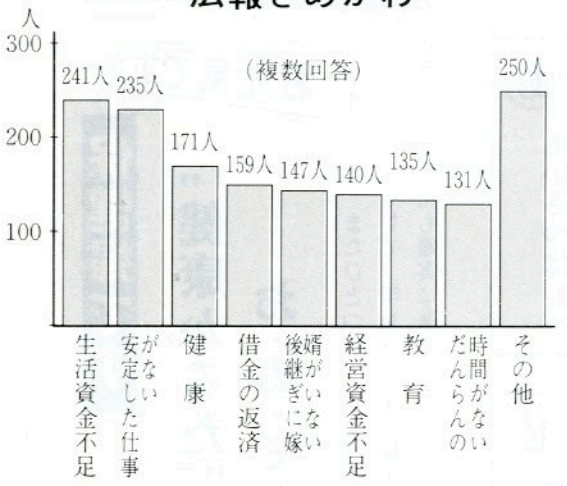
問4－(2) (1)で「できれば村を出たい」、「出なければならない事情がある」と答えた方に理由をおたずねします。2つ以内に○をつけてください。

あなたは、地域の状況についてどのように感じていますか。

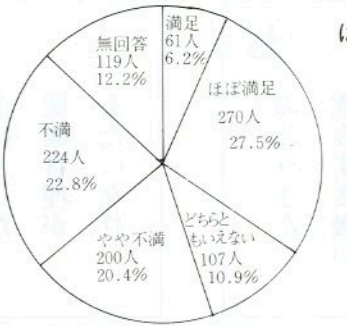
問5　村の人口は、一〇年後どのようになると思いますか。



問6　あなたの家庭で現在困っていることがあれば、3つ以内に○をつけてください。



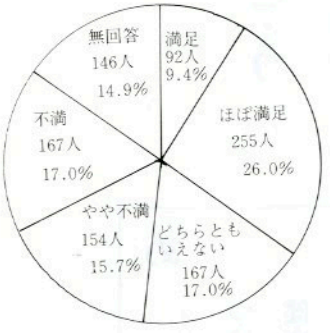
問7—(1)　道路の改良の程度は



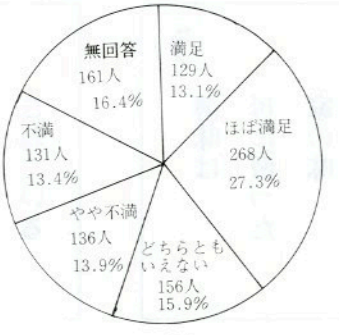
問7—(2)　道路の舗装の程度は



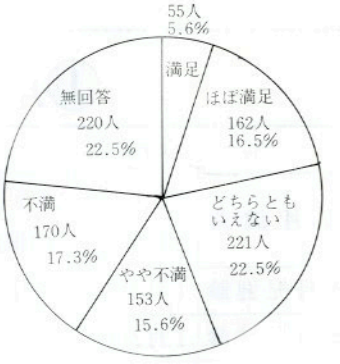
問7—(3)　病院や診療所の利用の便利さは



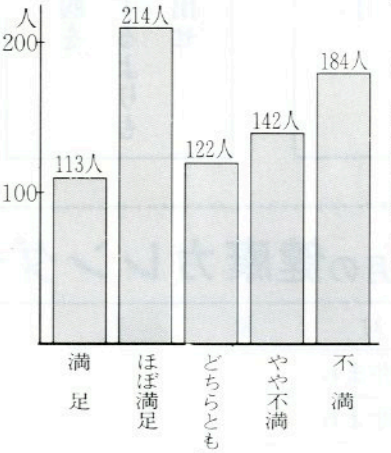
問7—(4)　ゴミやし尿の処理は



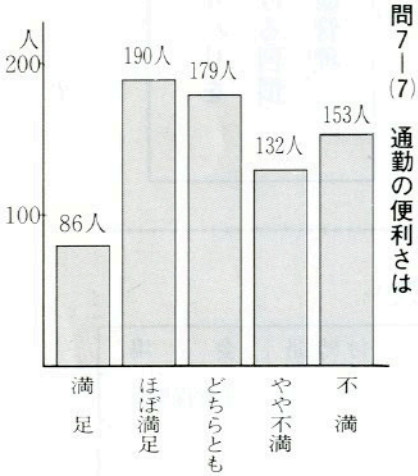
問7—(5)　下水の処理は



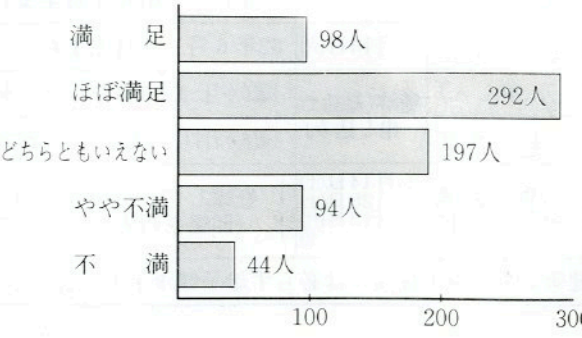
問7—(6)　通学の便利さは



問7—(7)　通勤の便利さは



問7—(8)　学校の整備状況は



問7—(9)　洪水やがけくずれ等の災害の安全性は



お元気ですか 保健婦です

"健康かるた"で お・め・で・と・う

新年を迎え、またひとつ年が増えます。そして、年を重ねるたびに老化も確実に進みます。年頭にあたり自分や家族の身体と生活をみつめてみませんか。

あ あいさつは
笑顔でかわす
さわやかさ

け 検診は
健康管理の
出発点

ま 慢性の
便秘予防に
食物繊維

し 新鮮な
材料で
一日三十種

て 手抜きした
健康管理が
あだになり

お おとうさん
飲みすぎ吸い
すぎ気をつけて

め メリハリを
つける習慣
健康管理

で 出る腹を
気にするよりも
汗を出せ

と 泥と土
子どもが健康
こねている

う 薄味は
母に習った
家の味

①月②月の健康カレンダー

	種別	実施日	対象者	受付時間	会場
乳幼児健診	4か月健診	1月11日(水)	63年9月生まれ	午後1:00～2:00	棚倉保健所
		2月8日(水)	63年10月生まれ	〃	〃
	7か月児健診	1月24日(火)	63年6月・7月生まれ	午後1:10～1:20	山村開発センター
	10か月児健診	1月24日(火)	63年3月・4月生まれ	午後1:30～1:40	〃
	3歳児健診	2月14日(火)	60年12月・61年1月生まれ	午後1:10～1:20	〃
	1歳6か月児健診	2月14日(火)	62年6月・7月生まれ	午後1:30～1:40	〃
予防接種	はしか(麻しん)	随時(電話で申し込み)	1歳6か月～6歳未満ではしかにかかっていない者	午前8:30～午後5:00	村診療所
	おたふくかぜ		1歳6カ月以上でおたふくかぜにかかっていない者		
妊婦	母子健康手帳交付日	1月14日(土) 1月28日(土) 2月13日(月) 2月25日(土)	妊娠していることが明らかな妊婦本人（印鑑を持参してください）	午前8:30～正午	役場内

※各健康診査、予防接種には必らず母子健康手帳を持参しましょう。

2回目

いわき市郷ケ丘で直売会
主婦や家族連れでにぎわう

新鮮な旬の香りをお届けします―と、村の特産品を集めた産地直売会が、十二月四日午前十一時から午後一時まで、いわき市郷ケ丘二丁目で開かれました。

七月に続き二回目の直売会で、今回は〝土つき野菜〟も販売されるとあって、団地内の主婦や家族連れが両手いっぱいに買い求めていました。

直売したのは、大根、ゴボウ、ニンジン、ネギ、里芋、ジャガイモなどが土つきのまま販売されたほか、白菜、キャベツ、キュウリ、春菊、トマト、シイタケなどの農産物、食パン、菓子、各種漬物、鮫川牛ジャーキーなども即売されました。

また、ヤマメの塩焼き、焼きとうもろこし、とん汁、おでんコーナー、搾りたて牛乳、地酒やまぶきの無料試飲コーナーも設けられ、大好評でした。

今回の直売会には、七名の生産者も参加し「消費者と直接取引、交流ができ勉強になった」と、新しい流通方法として始まった産直に意欲を見せていました。



▲主婦や家族連れでにぎわった直売会場



▶土つき野菜は大人気

文芸



俳句

道少田　山本五十鈴

暖かき一日を約す陽が昇る
大　塩　矢吹　呂孝
北風に髪流しゆく登校児
横　座　矢吹　茂
広げ干す庭三枚の籾の種
上　高坂　蚯切
新幣を祀り伝いて過疎に耐う
反　田　小山田清哲
時報四時はく息白く乳しぼる
新　宿　斉須　信子
コーヒーの湯気うずまいて暮早し
宿ノ入　田中　義明
年の瀬や寒さにめげず孫育つ
押　野　山本　恵子
とろろ汁むかしむかしの話好き
道少田　山本　朗史
昭和末期ざっくりと踏む霜柱
鮫川高校　沢　草二
落日という円熟の柿一顆
鮫川高校　岡部まゆみ
草の霜光をあびて踊りだす
鮫川高校　生田目　繁
枯芝の日ざしやわらか寝ころびし
鮫川高校　円井　一三
秋の空心吸われて時忘る
鮫川高校　下重　智子
おきざりし夫婦茶わんや刈入期
鮫川高校　藤田　孝之
枯葉散る心はなぜか燃えている
鮫川高校　藤田百合子
秋の朝俎の音母の音

短歌

新　宿　杉山　忠男

向ふ丘学童ひとり登降す軽妙な動きいとしみおぼゆ
遠ケ竜　中川西好幸
唐人の杖つきて登る絵の茶碗
肌ひそやかにつやめきており
青生野　吉成　タカ
展示する吾が絵に意外衝かれたり県知事賞の金紙貼られ
折　戸　阿久津ミツ
庭の辺に初冬の陽を浴び熟れる柿百舌は鳴きつつしきりつういばむ
越　虫　星　武
紅葉す原生林の渓流に天狗架橋す大磐横とう
名　下　須藤美代子
日溜りに靴磨きいるかたわらを枯葉からから地を辷り行く
福　原　蛭田　正
新しき年を迎えてカメラ据え自動シャッターを待つ七人の家族
棚　橋　関根　一好
裸形の雲に朝茜暗紫の那須峯は裾長く引く
酒　垂　石井　カヤ
しずかなる朝と思いて外見れば木々の枝々初雪つもる
宿ノ入　宗田　俊江
錦絵のようにふんわり浮く雲を越えて初日の今昇りくる
巡ケ作　鈴木　米子
ぬいぐるみまた捨てきれず娘らの幼き頃を思い出してる



農委だより

構造政策の推進

中核農家意向調査実施

稲作をはじめとする土地利用型農業は、経営規模が零細で耕地が分散しているなどの問題をかかえており、この体質を改善し、強化していくことが農業の課題となっています。

また、兼業化が進む一方で担い手は減少を続け、高度化しつつある生産技術や経営を担いうる有能な農業者をいかに確保するかも重要な課題になっています。

今年度は、中核農家等育成のため、中核的担い手農家に関する調査を実施します。

これは、農業で自立しようとする意欲と能力をもった農業者の実態、並びに意向を把握し、その動向等を分析、検討して今後の育成方策の参考にするため行います。

これにより、中核的農家を育成するものです。併せて、中核農家の組織化の育成が必要なため、意向調査を実施するものです。

中核的担い手の組織とは、すべての意欲ある農業者同志が自主的に集まって組織をつくり、相互の研さんと連携のための情報・技術の交換等の活動を促進することにより、技術の向上、経営能力の育成を図ることを目的とします。

意向調査は、農業委員が、中核農家の中から、抽出した方々を対象に実施します。

なお、調査にあたっては、個人のプライバシーを守りますので、ぜひご協力くださるようお願いします。

（注）中核農家とは、十六歳から五八歳までの男子かいて、年間一五〇日以上農作業に専従している農家。

農業委員選挙人名簿

～登載申請を忘れずに～

農業委員会では、「農業委員会等に関する法律」に基づいて、毎年一月一日現在で農業委員会委員の選挙人名簿を作成し、この名簿を審査して村の選挙管理委員会に提出することになっています。

この申請書を基に、「農業委員会委員選挙人名簿」が作成されますので、忘れずに提出してください。

選挙資格のある方々は、もれなく名簿登載申請書に記入し、申請書を一月十日まで組長さんを通じ農業委員会に提出してください。

〔選挙資格〕

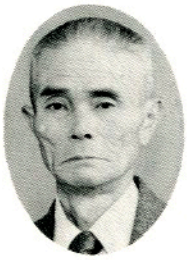
㈠、鮫川村に住所を有し、一月一日現在正常な手続によって居住し、昭和四十四年四月一日以前に生まれた満二〇歳以上の者。

㈡、一〇アール以上の農地につき、耕作の業務を営む者。耕作に従事する日数は、年間約六〇日以上とする。

㈢、農地面積の認定については、土地台帳に登録された面積である。土地台帳に登録されていない農地については、農業委員会が認めた面積とする。

㈣、以上の者の同居親族がその配偶者で㈠、㈡に該当する者。

年頭のごあいさつ



農業委員会
会長　国井　嘉康

農家の皆さん、家族お揃いになり健康で新春をお迎えになったことと存じます。

昭和六十四年こそ、最良の年でありますようお祈りいたします。

昨年を振返り、迎春の糧としたいところです。

私たち農家にあっては、入梅以降の低温そして日照不足、多雨等の異常気象により、稲をはじめ、そさい、葉たばこ、飼料作物等農作物が病害に冒され、また、生育不良による品質低下、冷害の症状を呈し、その被害は極めて甚大でありました。

特に、本村の場合は、水稲の青立ち、不稔実により飯米確保も心配される地区もあり、私たち農業者は営農の意欲をそがれ、苦悩の色を深めている現状であります。

この様な事が、再度、繰返す年であれば自立農家の確保、担い手の育成、また、規模拡大も「うらはら」に、減少されあやぶまれる現況ではないかと考えられるものであります。

然し乍ら挫けることなく、減収による苦境をのり越えるためには、厳密なる経営と計画を立て制度資金等を有効に運用し迎えた昭和六十四年こそお互いに頑張ることを誓い合い、明日の営農に家族揃って、健康で邁進されることをお祈りいたします。

私たち委員も、使命感を更に深め、農家の皆さんと共に切歯扼腕、農家収入の増大を図るべく努力する所存でありますので、何卒倍旧のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げまして、新年のごあいさつといたします。

公民館だより

富田地区体協が独占
綱引き競技大会開催される

鮫川村体育協会主催による第一回鮫川村綱引き競技大会は、十二月十一日に農業者トレーニングセンターで、男子一三チーム、女子九チーム、あわせて二二チームが参加して開催されました。

午前八時から受付が開始され、靴検査、体重測定が行われ、九時三〇分開会式となり、根本体協会長のあいさつのあと、芳賀村長、蛭田村議会議長の祝辞、日本綱引連盟公認審判員の生方審判長の競技上の注意があり、競技開始に先だって模範演技が行われました。

模範演技には、先頃福島で開催された綱引き競技県大会に出場し、みごと四位となった浅川町の「里白石綱引クラブ」の特別参加があり、熊野チームとの間で披露されましたが、引く姿勢や技術に圧倒され、感嘆の声があがりました。

競技は、男子が予戦はブロックリーグ戦決勝トーナメント戦方式、女子が予戦、決勝ともリーグ戦方式で戦われましたが、一レーンで行われたため、他チームの競技状況を観戦することができ、応援合戦も大変な熱の入りようでした。

競技結果は、次のとおりです。

◉男子の部▽優勝＝富田B▽準優勝＝富田A▽三位＝青生野B

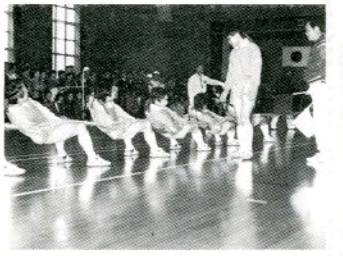
◉女子の部▽優勝＝富田A▽準優勝＝富田B▽三位＝趣訪

男女とも富田地区体協の独占となり、会場内では、早くも打倒富田の声が上がっていました。


▲男子の部優勝富田Bチーム


▲女子の部優勝富田Aチーム


▲熱気あふれる綱引会場


▲むむ、これが綱引きか！(模範演技)

ジャッジはまかせて
綱引審判協会結成

村内には、日本綱引連盟公認の審判員が九名おり、綱引き競技の普及に尽力されていますが、綱引き競技大会の開催に先だち、「綱引審判協会」が結成されました。

結成式は、十一月三十日、農業者トレーニングセンターで行われ、初代会長に生方利夫さん、副会長に白坂邦次さんを選んだあと、今大会のジャッジの統一を図り、大会運営などの打ち合わせが行われました。


▲縮こまらず体を動かして

第21回　社会学級閉級
「健康」教室保健事業とタイアップで

五月より毎月開催された社会学級は、第七回講座「健康」教室と閉級式を、十二月七日から十四日まで、六日間に渡って開催し、閉級しました。

「健康」教室は、村住民課の地区健康教室事業とタイアップして実施され、血圧測定・尿検査をし、健康状態をチェックしたあと、厳しさを増す冬場へ向けての健康管理について、お話や軽い運動等、村の保健婦さんの指導を受けました。

閉級式では、一〇七名の方に修了証、三三名の方に精勤賞、二二名の方に皆勤賞が公民館長より手渡され、一年間の課程を修了しました。

皆勤賞を受けた方は、次のとおりです。

西野教室　藤田敏、矢吹喜一、佐藤竜雄、舟木ヨシイ

西山教室　関根金利、関根光雄、矢吹茂

中央教室　佐藤千代治、生田目タマ

富田教室　鈴木幸夫、星サダ子、鷲野谷スイ、大平太平、舟木イノ、石井光男

渡瀬教室　蛭田マサミ、蛭田ミツイ

青生野教室　岡部タカ、藤田シマ、鈴木清司、石井春吉、石井フユ


▲皆勤賞を受ける蛭田マサミさん

商工業者のための「冷害対策資金」を創設

今年の異常気象による冷害対策として、村内商工業者の経営安定を図るため、商工業経営合理化資金の融資を受ける場合に、その利子と信用保証料について、村が独自に補助する制度を作りました。

この制度の適用を受けられる期間は、昭和六十四年一月一日から同三月三十一日までに融資を受けられた方に限ります。

なお詳しいことは、役場企画調整課又は、商工会にお問い合わせください。

●利子補給率　年一・五%以内

●信用保証料補給率　保証料の一〇分の一〇以内

●補給期間　五年以内

"解約したい"と思ったら すぐ クーリング・オフ

突然やってきたセールスマンの巧みな口車に乗せられて、つい契約してしまったけど、「やっぱり、要らなかった」と後悔したことはありませんか。そんなときに、すぐ思い出してほしいのが「クーリング・オフ」。消費者にとってはツヨーイ味方です。

つまり、いったん契約の申し込みをしてしまったけれども、後でよく考えてみたら「不要なもの」だったり、「支払いが大変」だったりした場合など、その契約をある一定の期間内に消費者の方から一方的に解約できる制度、それが「クーリング・オフ」です。

昨年五月に訪問販売等に関する法律が改正され（十一月十六日から施行）このクーリング・オフ期間が従来の七日間から八日間に延長されました。また、現金一括払取引についてもクーリング・オフが適用されることになりました。

しかし、クーリング・オフができるかどうかは、ケースによっていろいろです。

もし、解約したいと思ったら、まず、福島県消費生活センター（☎〇二四五-二一-〇九九九）か、役場企画調整課へご相談ください。

心あたたまる寄附

（村社会福祉協議会へ）

○　字鐘撞堂　鈴木　勳様
亡母（カツヨ様）の遺志により　五〇、〇〇〇円

○　字戸草　荒川市男様
亡父（忠様）の遺志により　一〇〇、〇〇〇円

○　字酒垂　齋藤　一巳様
亡母（キイ様）の遺志により　五〇、〇〇〇円

○　鮫川村婦人会として（会長宗田セキ様）より　歳末たすけあいバザー収益金　二二、八五〇円

○　字上　高坂　達雄様
亡父（尹様）の遺志により　五〇、〇〇〇円

心配ごと政相談

行　1月20日（金）
午前10時～午後2時
山村開発センター

おめでた

十一月

落合　本郷匠美　父本郷弘義
石ノ花　矢吹　亮　父矢吹佳伯

十二月

大塩　矢吹隆介　父矢吹勝則
江竜田　芳賀　聖　父芳賀　亨
塩倉　矢吹さおり　父矢吹　武
大平　関根裕樹　父関根浩治

おくやみ

十二月

内ケ竜　佐藤實三郎77　佐藤菊枝
鐘撞堂　鈴木カツヨ76　鈴木則男
上　高坂　尹69　高坂達雄
青生野　森田一雄73　森田敏男
酒垂　齋藤キイ90　齋藤一巳

休日の在宅当番医　（1・2月）

月日(曜)	当番医院 棚倉町	塙町	石川町
1月1日(日)	菅原	—	大野・円谷
2日(月)	薄葉	—	石川中央・大竹
3日(火)	大木	厚生病院	務川中吹
8日(日)	東白川中央	島田	田矢三瓶
15日(日)	阿部	中本	原
16日(月)	藤田	車根	大野診・山本
22日(日)	勝田	厚生病院	中島・矢内
29日(日)	菅原	—	大野・大野眼
2月5日(日)	薄葉	石川	石川中央
11日(土)	大木	—	
12日(日)	東白川中央	—	

ゴミの収集日

収集コース	種別	1月	2月
江竜田～中野町～福原～彦次郎～鍬木田～前沼～広畑～湯ノ田～巡ケ作～役場～保育所コース	可燃物	5.9.12.19 23.26.30	2.6.9.13 16.20.23.27
	不燃物	13.27	10.24
農協前～農協倉庫～給食センター～道少田～教員住宅～鮫川分校（木曜のみ）～伏木田～大塩	可燃物	5.9.12.19 23.26.30	2.6.9.13 16.20.23.27
	不燃物	13.27	10.24
鮫中～真坂～寅卯平～茅～酒垂～滑石～塚本～折戸～宝木～水口～落合～官沢コース	可燃物	4.11.18.25	1.8.15.22
	不燃物	12.26	9.23
石井草～前田～鬼越～戸倉～菅田～沼野沢～岩野草～薄ケ久保コース	可燃物	4.11.18.25	1.8.15.22
	不燃物	20	17
越虫～青生野～葉貫～戸草～巌ノ草～湯ノ田～中沢コース	可燃物	4.11.18.25	1.8.15.22
	不燃物	11.25	8.22
官代～楢久保～遠ケ竜～内ケ竜コース	可燃物	4.11.18.25	1.8.15.22
	不燃物	13.27	10.24

※　休日は、可燃物・不燃物を出さないでください。
※　ゴミは、収集日の朝に出してください。